



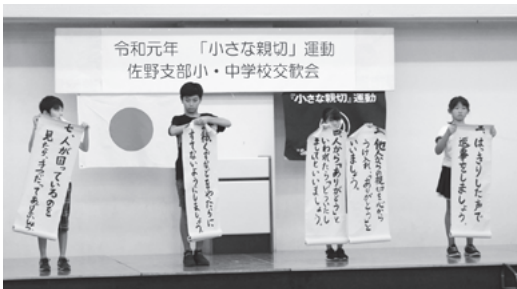
各地の活動報告

●脳科学から見る「小さな親切」

7月23日(火)、千葉県本部(事務局・千葉興業銀行)の総会で、運動本部の栗田正理事(帝京大学ちば総合医療センター脳神経内科教授)が、「脳科学から見る『小さな親切』と題する講演を、全国で初めて行いました。栗田理事は、本誌の脳に関



栗田理事による講演



開会前に「小さな親切」ハカ条を唱和

する身近な話題をテーマにしたエッセイ「酔いどれ脳科学」でもおなじみです。
講演では、親切を実行すると脳内ではどんな作用があるか、幼児期から思春期までの発達段階に応じた脳の働きなどを説明。脳科学の視点から親切運動の重要性を語り、日頃から子どもたちの心の育成に尽力する学校関係者、県本部・支部の皆さんは、メモをとりながら熱心に聞き入っていました。

●思いやりは国境を超える

8月8日(木)、栃木県佐野支部(事務局・佐野信用金庫)主催の第35回小・中学校交歓会が開かれ、小学校4校・中学校2校が活動発表を行いました。活動は、あいさつ運動や「小さな親切」実行章などのほか、アルミ缶収集の収益金で車椅子を購入・寄贈する活動、発

展途上国の子どもにワクチンを届けるエコキャップ収集活動、災害被災地支援のための募金活動など多岐に渡ります。
活動発表の後の意見交換では、「思

いやりの心は国境を超える」との感想が出るなど、子どもたちの豊かな心の成長を感じる会となりました。

●点字翻訳本を寄贈

昨年は「北海道」命名150周年に当たり、北海道本部の事務局を担う北海道電力(株)では、北海道の名付け親の探検家・松浦武四郎の知られざるエピソードを「週刊武四郎」として、ホームページに連載。

この度、武四郎の出身地・三重県松阪市の「松阪点訳友の会」が点字翻訳本を製作し、10月2日(水)、同本部より「日本赤十字社北海道支部点字図書センター」へ寄贈しました。施設の方からは「貴重な図書をいただき感謝する。多くの視覚障害の方に読んでほしい」と喜ばれました。



渋谷朋彦事務局長(左)より寄贈

お知らせ

●使用済み切手のご送付に、ご注意ください

くださいますようお願いいたします。

〈定形〉50g以内・厚さ1cm以内

〈定形外(規格内)〉

1kg以内・厚さ3cm以内

●寄附者ご芳名

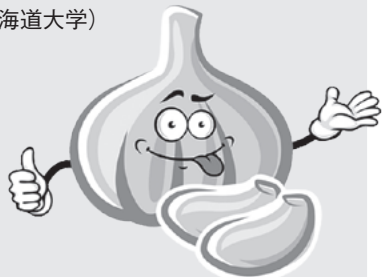
(2019年7月～8月末／順不同、敬称略)
東京都 盈進自動車株式会社／山口
県 福岡 満／長野県 信州ガス株式会社／広島県 井本美代子

「海外の方の日本語作文」

「ニンニク」風のおつき合いを

ハニイ・ウイジャヤ(インドネシア出身・北海道大学)

ニンニクはお好きですか? 「あんまり」「臭くて…」という方がおいでしょう。でもニンニクは世界何十カ国の、何千何百というお料理をおいしくしているもとですし、またさまざまな薬効も持っています。



日本へきて四年が過ぎましたが、本当の友人と呼べる人は、指で数えられるほどしかいません。どうしてでしょう? お会いした方々はどなたも皆、優しく親切で気楽でした。それなのに、本当に親しくなれる人がこんなに少ないなんて、他の留学生からもよく、同じような話を耳にします。

日本の皆さんは、私たち外国人をととても大事に下さいます。大変嬉しいのですが、逆に言う「お客」としてしか見てもらえないさびしさを感じます。とても礼儀正しく丁寧に接してくれますが、ありのままの自分はなかなか見せてもらえません。だからいつまでたっても、通りいっぺんのおつきあいで終わってしまう。残念なことです。

それから、日本人の優しい心の中には、常に相手の気持ちを思いやる気持ちがあるようです。自分は少しがまんをしても、相手が喜んでくれればそれが一番、という考え方です。これはもちろんとても良いこと、すてきなことで、私も出来れば見習いたいものです。ところが、この思いが強すぎて、相手の気持ちを傷つけるかもしれないと心配するあまり、必要以上に神経を使ったり、余計な気をまわしたり、すっかり疲れてしまうのは当然です。やがて会うこと自体がわずらわしくなっても、何の不思議ありません。できれば、会うことを避けたくなるでしょう。すると今度は、避けていることが相手にわかってしまうのでは、と心配になったりして、こんなことなら、いっそ他人のままでいる方がましですね。

相手によく思われたいという気持ちは自然ですし、相手の心を傷つけないようにする心づかいは大切ですが、くたびれてしまっは何にもならないし、本当の友情を求めるなら、それだけでは濟まないでしょう。人と人とが付き合うのですから、傷つけたり傷つけられたりするの、やむを得ないと思います。ある程度傷つけられたりしながら、お互いの本当の気持ちを理解しあい、認め合ってゆくものではないでしょうか。

正直で率直で気楽な付き合い。個人どうしの交流はそこから生まれ、それが国と国との交流のための確かな懸け橋になってゆくのだと思います。

ニンニクは傷をつけないければたいして臭いしません。でも、それではお料理には役立たない。傷をつけると、あの強烈な臭いが出てくるけれど、料理の味をグンと引き立て、健康をも増進してくれます。傷をつけると「臭いけどおいしくなる」ニンニク。では、「トラブルもあるけど仲良くなれる」ニンニク風のおつきあいはいかがでしょう。エスニック料理もはやっていることですし……。

※前号(No.515)の巻頭エッセイ「恒さんが行く!」でご紹介した大森和夫・弘子夫妻が主催する「日本語作文コンクール」(第1回/平成元年)入賞作品より

ありがとうございました。(抜粋)

投稿先:「小さな親切」運動Webサイト内「みんなつながる同窓会ルーム」専用フォーム

「みんなつながる、同窓会ルーム」投稿募集中!

当運動のWebサイトでは、過去に「小さな親切」実行章を受章した方、コンクールに入賞した方、クリーン大作戦に参加した方など、親切運動に関わったことのある方のコメントを募集しています。

「香川県 佐藤志保さんより」

昨年、娘が作文コンクールにて特別優秀賞を受賞し、参加した表彰式での出来事です。

当日は、二人で上京しました。少し欲張りですが、ビデオも撮りたい、でもカメラで写真も撮りたいと頭を悩ませていました。そのとき、開会前にお話をさせていただいたお父様と偶然、隣同士の席に座ることとなりました。

娘の表彰のときには、そのお父様が写真を撮ってください、私はゆっくりビデオ撮影をすることができました。そして、その方の息子さんの表彰のときには私が写真を撮り、お父様は息子さんの勇姿をビデオにおさめました。

お互いにその場でお礼を言うのみでしたが、子どもたちが縁で保護者席にも素敵な「小さな親切」が生まれていたことを、ご報告させていただきました。